

私たちは、これからの社会を
どう捉えていくべきか——。

価値観が大きくシフトした今、
「繊維」と共に歩んできた私たちもまた、
イノベーションが求められています。

持続可能な世の中のために、
私たちができることを一歩一歩。

ともに創造し、譲えあい、
次の世界を形づくる
実りある社会の実現を目指します。

YAGI
Heritage to the future
証券コード：7460



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、おかげさまで昨年10月に創業130周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様へのあたたかいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当期は、中期経営計画2026「Heritage to the future」の初年度として、持続的成長の基盤づくりに注力し、「事業」「グローバル」「グループ経営」「人材」「ESG」の5つを基本戦略として取り組んでまいりました。その結果、売上高はマテリアル事業における国内需要の減退などにより減収となりましたが、グループ一丸での収益性改善の徹底、アパレル事業及びブランド・リテール事業の伸長等により利益は大幅な増益とすることができました。

配当につきましては、業績を踏まえた増配と130周年の感謝の意として記念配を加え15円増の63円とさせていただきます。

今後も当社グループを取り巻く経営環境は、国内では急激な少子高齢化、消費マインドの多様化と二極化が進むものと思われまます。世界的には長期化する不安定な国際情勢、各国の金融政策等を背景として、国内外ともに需給の先行きは不透明で厳しい状況が続くものと予測しております。

これらを踏まえ、当社グループは一層のグループ経営の強化と最重要課題であるグローバル戦略に取り組んでまいります。

業績予想としましては、第113期(2025年3月期)は売上高870億円(前期比5.0%増)、経常利益33.5億円(前期比4.5%増)を見込んでおります。

また、中期経営計画の最終年度となる第114期(2026年3月期)は、売上高900億円(前期比3.4%増)、経常利益35億円(前期比4.5%増)を目標といたしました。

これらの達成により、安定した株主還元の継続と、VISIONの実現による社会と当社グループの持続的成長を目指し、1893年の創業以来築き上げてきた信用と実績をさらに高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

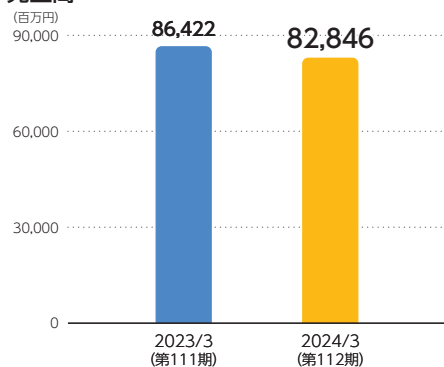


代表取締役
社長執行役員 **八木隆夫**

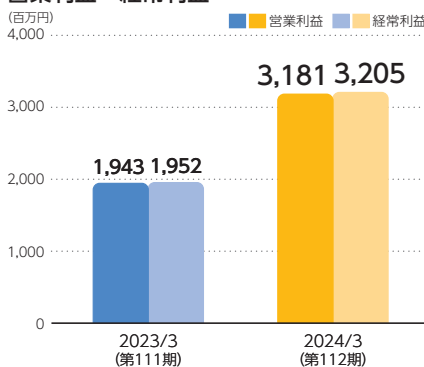
2024年6月

財務ハイライト(連結)

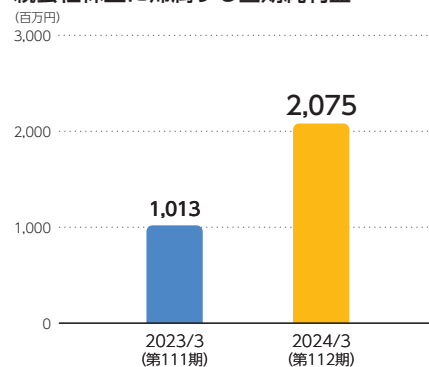
売上高



営業利益・経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



セグメント別の概況

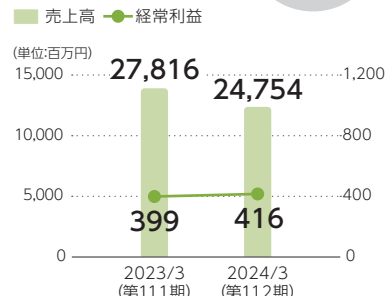
マテリアル事業

29%



天然繊維については、オーガニックコットンに対する需要があったものの当用買いが多く、先物契約には結びつかず、また為替の影響もあり低調に推移しました。合成繊維については、1月の能登地震の影響による冷え込みに加え、コスト上昇分の価格転嫁が進まず苦戦を強いられました。一方で、ニット生地については、春夏商品の生産量が予想を大きく下回っている状況の中、価格転嫁を進めたことなどにより、前連結会計年度を上回って推移しました。

この結果、売上高は24,754百万円(前期比11.0%減)、セグメント利益(経常利益)は416百万円(前期比4.2%増)となりました。



ライフスタイル事業

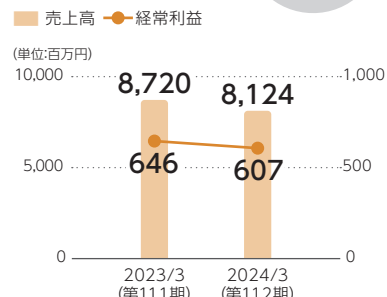
10%



生活雑貨、化粧雑貨及びスポーツ関連商材は、消費者購買意欲の回復や取り扱い商材の拡充により堅調に推移しました。また、清掃関連商材については、原料価格の高騰、為替などの影響を受け厳しい状況ではありますが、一部商品については価格改定を行い堅調に推移しました。

一方で、ダストコントロール商材については、新製品の供給が一巡したことによる生産調整の影響により販売が鈍化しました。

この結果、売上高は8,124百万円(前期比6.8%減)、セグメント利益(経常利益)は607百万円(前期比6.1%減)となりました。



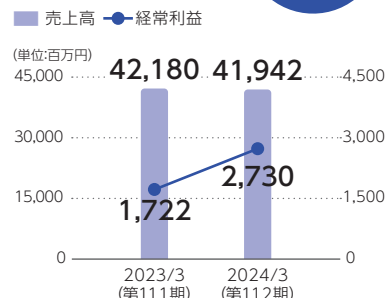
アパレル事業

49%



コロナ禍の影響が徐々に収まり、ファッション市場でもインバウンド需要を含む消費意欲が回復基調の中、上期は中高価格帯向けの営業が奏功し好調に推移しました。下期は暖冬や人手不足に伴う人件費の上昇や為替などの影響により若干失速しましたが、低採算事業及び商圏の見直し、部分的な価格転嫁及びコスト管理の徹底などにより業績に大きく貢献しました。

この結果、売上高は41,942百万円(前期比0.6%減)、セグメント利益(経常利益)は2,730百万円(前期比58.5%増)となりました。



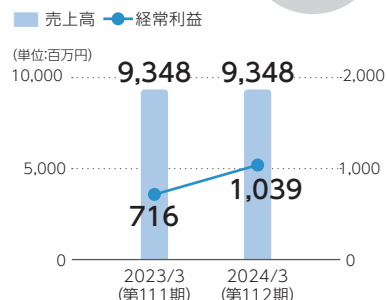
ブランド・リテール事業

11%



上期はインバウンド需要の回復に加え夏物商材への取り組みが奏功しました。下期は暖冬の影響などから市況が悪い中でも、主力のダウンジャケットの売れ行きは比較的堅調に推移し、かつダウンジャケット以外の新商材も評価を得て拡販できたことなどにより業績に大きく貢献しました。

この結果、売上高は9,348百万円(前期比0.0%増)、セグメント利益(経常利益)は1,039百万円(前期比45.2%増)となりました。



(※売上高構成比はこの他に、不動産事業1%があります。)

配当について

配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。

当基本方針に基づき、当期末配当金は1株につき63円(普通配当58円 記念配当5円)とさせていただきます。また、次期の期末配当金につきましては、1株につき68円を予定しております。

創業130周年記念パーティー開催

おかげさまで当社は、昨年10月に1893年(明治26年)の創業から130周年を迎えました。これを記念し、昨年12月・本年1月にかけて、「過去から未来へつなぐ」をテーマに、当社の全従業員が参加する記念パーティーを大阪・東京の2箇所で開催いたしました。パーティーは食事を楽しみながら和やかな雰囲気の中、執り行われ、様々な時代の変化に対応しながら、変わらず「終始一誠意」の精神を大切にこれからも進んでいく、という社長の八木による記念挨拶にはじまり、当社のこれまでの130年間の歩みを振り返りながら、これからの未来に想いを馳せる内容となりました。

東京開催の回では、当社のVISIONに掲げている「仲間同士がたたえ合う」風土の醸成を目指した表彰制度「チームスピリット賞」の授賞式も行われました。当社グループの発展に貢献した部署やプロジェクトチーム、グループ会社の中から全社投票による上位チームが表彰され、組織の枠を超えて社員同士が認め合う機会となりました。当社がこれまで130年の歴史の中で時代と社会のめまぐるしい変化に対応してきたように、今後もヤギグループ一丸となって新たな価値創造やグローバルな挑戦を行っていきます。



SDGs成果指標・数値目標を開示

当社は、「持続可能な企業であるための環境改善」、「持続可能な未来のために環境問題を解決」、「未来のライフスタイルへの提案」、「企業の社会的責任」という4つのミッションステートメントのもと、マテリアリティ(重要課題)と成果指標・数値目標を設定し、コーポレートHPで開示いたしました。

マテリアリティを環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の3つの領域に整理し、中期的な目標値を設定することで、中期経営計画「Heritage to the future」の基本戦略の一つに掲げるESG戦略を着実に推進してまいります。また、ファッション産業において深刻な課題である温室効果ガス削減にも努めるべく、事業活動に伴うGHG排出量の計測も実施・開示し、進捗のモニタリングも行っています。目標値に対する具体的なアクションを通じて経営戦略を加速させることで、社会とヤギグループの持続的成長を目指します。



URL

<https://www.yaginet.co.jp/sustainability/sdgs.html>

「Nike Nagoya Sakae」「Nike Shinsaibashi」がオープン

当社と韓国のスポーツアパレル小売企業であるWINWIN SPORTS社が共同出資して設立した株式会社WINWIN YJVが運営するストア、「Nike Nagoya Sakae」が昨年10月に、「Nike Shinsaibashi」が本年1月にオープンいたしました。スポーツに情熱を持ち、アクティブな生活を楽しんでいるお客様に向けたこれらのストアでは、新商品の展開や、地域とストアがつながるコミュニティ活動を通して、お客様とその都市のスポーツをつなぐサービスや体験を提供しています。また、NIKEアプリ・アット・リテールのサービスを通じ、ナイキメンバーはスキャンによる商品情報確認など、実店舗でデジタル主導の体験をお楽しみいただけます。今後も株式会社WINWIN YJVは、NIKEとの強いパートナーシップとNIKEに対する深い理解を持ち、様々なサービス提供を通して、お客様の健康と幸せ、生活の質の向上を目指していきます。



URL

<https://www.nike.com/jp/retail/s/nike-shinsaibashi>



TATRASがパリでプレス・バイヤーに向けたインスタレーションを開催

昨年9月に社名変更を行った、当社グループ会社の株式会社WEAVAもグローバルに向けた取り組みを進めています。基幹ブランドであるTATRASは、パリ・ファッションウィーク期間中の本年3月2日～6日に、現地で2024年秋冬コレクションを中心としたインスタレーションを開催しました。今回は、新しいクリエイティブディレクターによる初のコレクションを展示。インスタレーションだけでなく期間中は会場にショールームも併設し、コレクション期間中に世界中から集まるバイヤー、プレス関係者、インフルエンサーに会場いただき、TATRASの2024年秋冬シーズンの世界観を感じていただきました。当社グループでは、今後もグローバルビジネス拡大に向けてこのような取り組みを積極的に進めてまいります。



URL <https://weava.co.jp/>

Bioworks株式会社の第三者割当増資引受

当社は、植物由来の環境配慮素材Plax™を開発するBioworks株式会社が実施した第三者割当増資引受を行いました。Bioworks社が独自に開発した「植物由来の添加剤」を加えた「Plax™」の事業に当社グループの経営資源を有効活用することで、主に当社のマテリアル事業において新たな環境配慮商材の開発からグローバル販売を展開していくことを目的としています。本件を通して、当社のSDGs方針とそのマテリアリティにおいても目標として掲げている、環境配慮素材の使用率向上に努めます。そして、さらなる価値創造に向けて市場ニーズに柔軟かつ迅速に対応することにより、持続可能な社会実現に向けた貢献とグローバルビジネスの拡大に邁進してまいります。



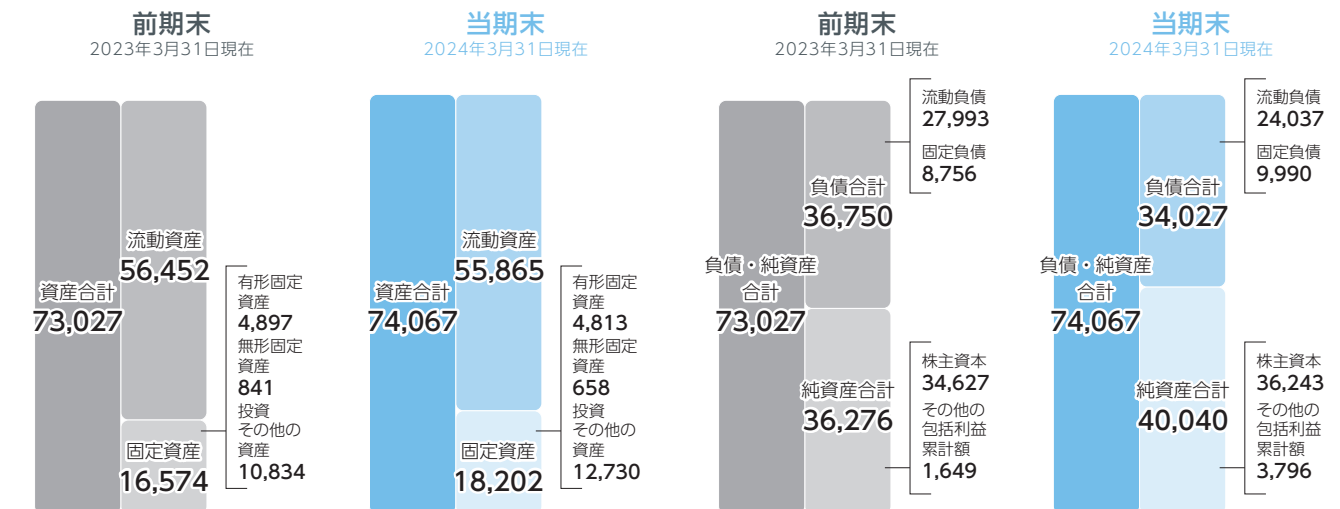
URL <https://bioworks.co.jp/>

連結財務データ

● 連結貸借対照表

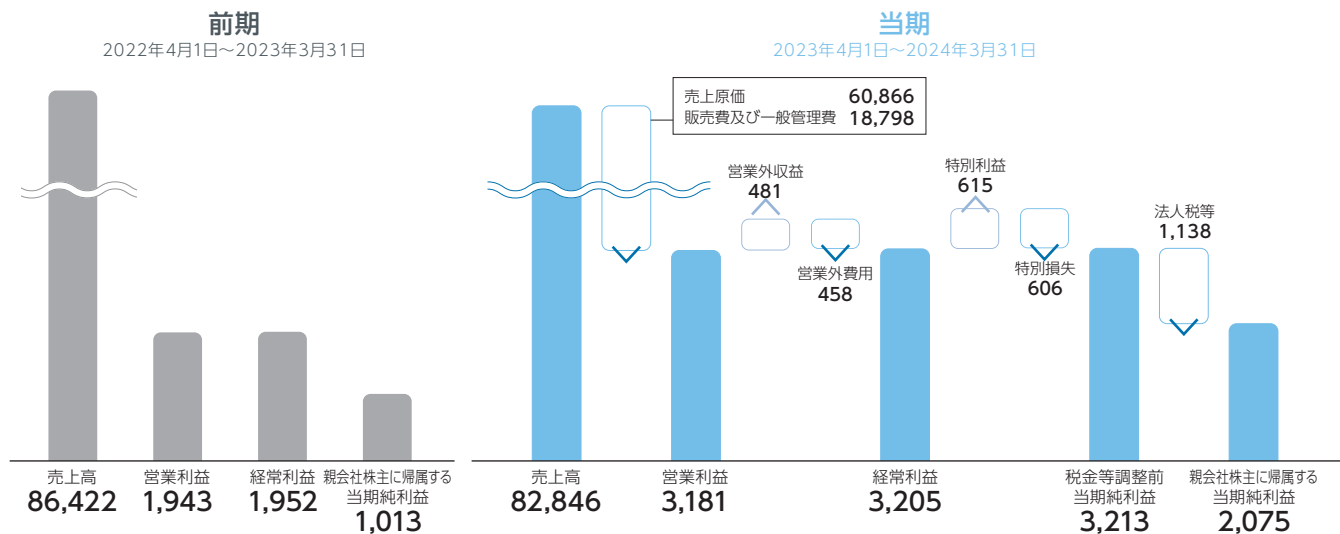
資産の部 (単位:百万円)

負債・純資産の部 (単位:百万円)



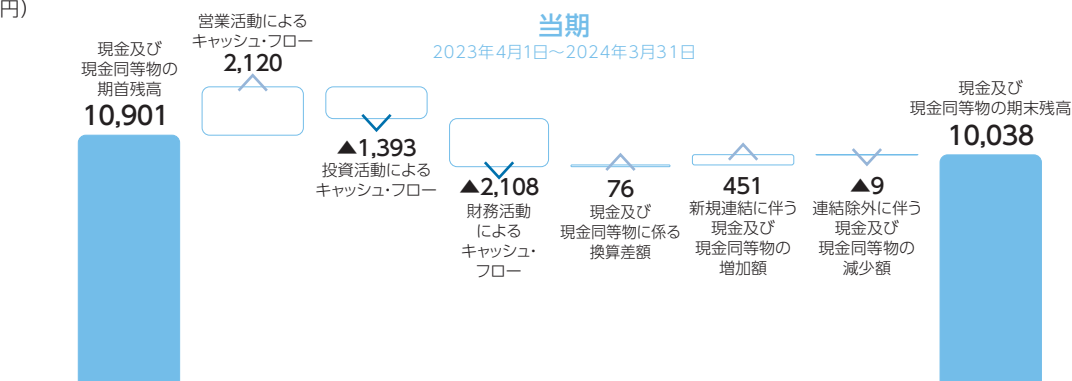
● 連結損益計算書

(単位:百万円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください <https://www.yaginet.co.jp/ir/>

ヤギIR

検索



会社概要

(2024年3月31日現在)

会社の概要

社名	株式会社 ヤギ
英文社名	YAGI & CO.,LTD.
創業	1893年(明治26年)10月16日
設立	1918年(大正7年)4月28日
資本金	1,088,000,000円
主な事業内容	綿化繊糸、合繊糸、綿化繊織物、合繊織物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
主要な事業所	(国内) 大阪本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号 支店 福井(福井市) 出張所 名古屋(名古屋市) 営業所 和歌山(和歌山市) (海外) 駐在員事務所 上海(中国) ホーチミン(ベトナム) ハノイ(ベトナム) ダッカ(バングラデシュ)

役員一覧 (2024年6月27日現在)

代表取締役	社長執行役員	八木隆夫
取締役	専務執行役員	山岡一郎
取締役	常務執行役員	三橋大作
取締役	常務執行役員	藤本貴史
取締役	上席執行役員	八木靖之
取締役		玉巻裕章
取締役	(常勤監査等委員)	山本浩志
取締役	(監査等委員)	池田佳史
取締役	(監査等委員)	熊谷弘
取締役	(監査等委員)	小山茂和

(注)取締役玉巻裕章、池田佳史、熊谷弘及び小山茂和は、社外取締役であります。

(注)本報告書中の記載金額及び株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会の
基準日 3月31日

剰余金の配当の
基準日 期末配当 3月31日
中間配当を行うときは9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店でっております。

公告の方法 電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、電子公告によることができない
事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ウェブサイト
<https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

株式の情報

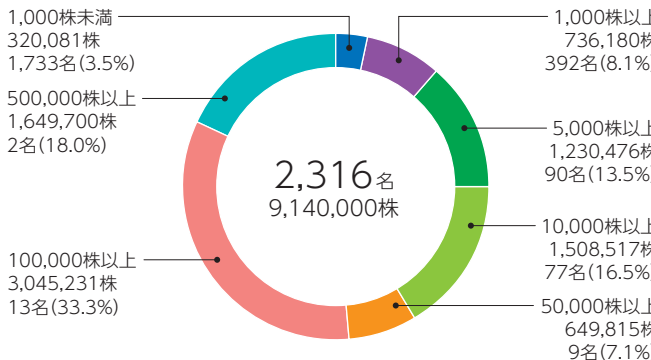
(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	45,568,000株
発行済株式の総数	9,140,000株
株主数	2,316名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	982(千株)	11.53(%)
清原 達郎	666	7.82
株式会社みずほ銀行	410	4.82
株式会社三井住友銀行	380	4.46
立花証券株式会社	310	3.64
株式会社三菱UFJ銀行	305	3.58
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	253	2.97
第一生命保険株式会社	250	2.93
八木 隆夫	240	2.82
ヤギ従業員持株会	237	2.78

(注)持株比率は自己株式(615,016株)を控除して計算しております。なお、当社は「従業員向け株式交付信託(RS信託)」制度を導入しており、本制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式187,300株は、自己株式に含めておりません。

所有株数別分布状況



【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。